

1 液水性反応硬化形ウレタン樹脂塗料

ニッペ 水性ファインウレタンU100

多機能タイプの環境配慮形水性つや有りウレタン塗料。
内装・外装の各部位に塗装可能です。

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆
------------------	-------

特長

①優れた付着性

1液水性反応硬化形なので、密着性にすぐれています。

②優れた作業性・仕上り性

隠ぺい性に優れ、作業性・仕上りの両面を兼ね備えた高級品です。

③環境にやさしい水性塗料

水性塗料のため臭気も少なく、安全にお使いいただけます。

④透湿性

塗膜には透湿性がありますので、膨れや剥離を抑制します。

⑤防藻・防かび性

藻やかびの発生を防止する効果があり、美観維持に役立ちます。
強力防かびタイプのオプション付与が可能です。

⑥幅広い塗り替え適性

外壁・鉄部などの新設・塗り替えと幅広く使用できます。

用途

戸建住宅・マンション・商業施設など
臭気配慮が必要な内・外壁面の新設・改修塗装
内部および準外部の鉄部改修塗装

適用下地

新設適用下地：コンクリート・モルタル・石膏ボード・ALC パネル・けい酸カルシウム板などの各種素材
改修適用下地：上記各種素材面および鉄面の各種旧塗膜

標準塗装仕様

●コンクリート面 石膏ボード面など新設塗装仕様(内部)

塗装工程	塗料名	使用量(kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法	
下地調整	こみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする							
下塗り	水性カチオンシーラー	透明	0.10～0.16	1	4時間以上	無希釈	—	ウールローラー
		ホワイト				水道水	0～10	
上塗り	水性ファインウレタンU100	0.13～0.16	2	3時間以上	水道水	0～10	ウールローラー	
						5～10	エアレスプレー	

注)「水性カチオンシーラー」の塗付け量は、0.09kg/m²/回です。「水性ファインウレタンU100」の塗付け量は、0.12kg/m²/回です。
・使用量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量：被塗装面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

●コンクリート面 微弾性フィラーを用いた改修塗装仕様

塗装工程	塗料名	使用量(kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修工が必要な場合は、下地調査結果にもとづいて、塗装工事前に実施する						
下地調整	活膜は残すが、せい弱化した塗膜の表面および影れなどは入念に除去する。下地を十分に乾燥させ、よごれ、付着物などを除去し、サンドペーパー・ウエスなどで清浄な面とする。外壁の場合、粉化物、付着物などは高圧水洗機を使用し、除去清掃を行う。						
下塗り	パーフェクトフィラー	0.50～0.90	1	4時間以上	水道水	1～5	砂骨ローラー
		0.20～0.45				3～8	ウールローラー
上塗り	水性ファインウレタンU100	0.13～0.16	2	3時間以上	水道水	0～10	ウールローラー
						5～10	エアレスプレー

※ニッペパーフェクトフィラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が進むような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することを推奨します。(作業性や仕上りの向上を更に図ることができます。)
※上記下塗り以外に、アンダーフィラー弾性エクセルも使用できます。

●一般鉄部改修塗装仕様(内部・準外部)

塗装工程	塗料名	使用量(kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などをワイヤブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去し、乾燥した清潔な面とする。						
※下塗り	1液ハイボンファインデクロ	0.13～0.15	1	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	5～10	はけ・ウールローラー
	水性ハイボンプライマー	0.13～0.16	1	4時間以上7日以内	水道水	0～5	はけ・ウールローラー
上塗り	水性ファインウレタンU100	0.13～0.16	2	3時間以上	水道水	0～10	はけ・ウールローラー
						5～10	エアレスプレー

※上記下塗り以外に、ハイボン20デクロ、ハイボンファインプライマーII、パーフェクトプライマーなども使用できます。
※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している箇所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り塗料(さび止め塗料)で部分補修塗りしてから下塗りしてください。
下塗りに「水性ハイボンプライマー」を選択するとオール水性鉄部仕様となります。

※上記の数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず営業までご相談いただけますようお願いいたします。

※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

